



もっと詳しく知りたい方はコチラ!

部	省エネ改修メニュー	参考商品取り扱い企業名	問い合わせ	ホームページURL
共用部	照明(器具)	三菱電機照明株式会社	TEL:0120-348-027	http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/index.html
	照明(ランプ)	三菱電機照明株式会社	TEL:0120-232-288	http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/index.html

『照明(共用部)の省エネ』ってなあに?

共用部のエントランスや通路など、常時点灯している照明に、LEDや人感センサー機能付き器具を採用することで大幅な電気代の削減が可能です。

照明を取り換えるとどうなるの?

調光で一つの空間を表情豊かに。省エネも実現。

人の動きを検知して、自動ON/OFFや自動調光で省エネ。



利便性

エントランスホールの常時点灯の照明などは、光センサー付照明制御コントロールとの組合せにより、日中の時間は照明の明るさを抑えるなど、自動的に電気代を抑えることも可能です。また、長寿命のLEDはランプ交換時期を大きく伸ばし、照明設備のメンテナンス・更新の手間を大きく削減します。

快適性

人感センサーにより人の動きを検知し、ムダな照明をカット。不在時の明るさを自由に設定可能、またフェード機能で緩やかに明るさを切替えるので人に不快感を与えません。時間帯によるシーン(明るさ)設定も自在に可能です。

安全性

人を検知して、自動的に点灯。安全と明るさを確保します。

人感センサー付き器具は、深夜などの不在時には適度な明るさを確保し常夜灯としても最適。また自己点検機能付きの誘導灯の採用でバッテリー寿命を早期発見、運用・管理面でのサポートも可能です。



夕刻
100%点灯
日没~21時



夜間
60%点灯
21時~0時



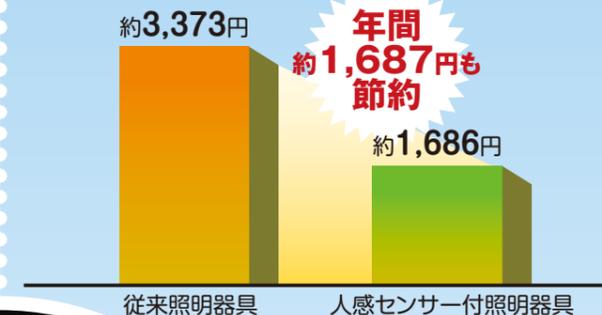
深夜
30%点灯
0時~6時

従来器具・ランプからLED器具・ランプ交換で省エネに。



人感センサーの導入やLED器具への交換でさらに大きく省エネ。

従来照明器具と人感センサー付との1機器あたりの年間コストの比較



約50% 年間の光熱費を 節約

省エネになる原理

一般白熱電球や蛍光灯のLED化により、電気代を大幅削減。さらに人感センサーや調光機能を利用し、小まめに明るさを変化、ムダを省いて省電力化が可能です。

経済効果はどのくらい

従来器具(35W)から人感センサー(35W)を導入すれば、省エネ効果は約50%、一灯あたりの年間電気代が、3,373円から1,686円に節約できます。また、従来機器の蛍光灯(26W)からLED器具(13.4W)に更新するだけで、一灯あたりの年間電気代は、2,505円から1,291円に節約。

導入時の注意点

使用環境に関する項目

●使用環境に見合った器具をお選びいただき、取扱説明書に従ってください。誤った使用環境で使用しますと落下、感電、火災の原因となります。

設置場所・方法に関する項目

●埋込み照明器具は、断熱施工天井(マット敷工法、ブローイング工法)への取付はできません。そのまま施工されますと火災の原因となります。

●照明器具の取付は、その重量に耐える強度が必要です。不備があると落下、天井面や壁面のわん曲の原因となります。

●照明器具と被照射面の距離は、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。近接限度以下の場合、照射面は高温となり、変質、変色、火災などの原因となります。

電源電圧・周波数に関する項目

●蛍光灯器具には、電源周波数50Hz(ヘルツ)・60Hz用の区別があるものもあります。必ず電源周波数にあった器具をご使用ください。また、照明器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。器具の損傷や、過熱による火災の原因となります。

照明(共用部)の改修で、快適生活が始まります。